＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年１月１８日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年１月１８日（木）
開催の場所	伊勢崎市役所　北館４階会議室
	◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言
	※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 野　口　裕　孝（教育長職務代理者） 山　洞　広　美（委員） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員）
	※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 教育部副部長　　二　上　哲　也 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教育施設課長　　井　上　賢　一 学校教育課長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　横　堀　康　宏 健康給食課長　　山　本　雄　一 生涯学習課長　　百　瀬　剛　志 図書館課長　　和佐田　靖　子 文化財保護課長　　新　井　信　也
	※総務課職員出席者 書　記　　半　田　素　美 書　記　　町　田　　彩 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として野口裕孝委員、野口理英子委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ――― １２／１９の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― １２／１９の会議録に署名をいただいた。 教育長、里見委員、野口理英子委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪学校教育課長≫ １.「令和５年度文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞者について」、特別活動や部活動の指導の分野において、昨年度の群馬県教職員表彰に続き１人が受賞した旨、今年度の受賞者は全国で８２３人、うち群馬県からは１５人であった旨、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ２.「令和５年度群馬県教職員表彰の受賞者について」、本市から貢献部門、優秀教職員部門、奨励部門の３部門において受賞者がいるが、今年度より表彰式の日程が変更になり、報道各社への発表が２月７日以降となったため、２月定例会にて改めて報告となる旨、報告があった ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ ３.「令和６年度四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜検査について」、１月１０日及び１１日に行われた願書受付の志願状況及び倍率について、また選抜検査を１月２０日に実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪学務課長≫ ４.「令和５年度就学援助費認定率について」、令和５年１２月１日現在で１，２８６人・認定率８．０％であり、前年度実績１，２５９人・認定率７．７％と比較すると認定者数は２７人増、認定率も０．３％上昇しているが、これは申請書を全家庭に対して配布し、制度を幅広く周知し丁寧に対応したことにより、児童生徒数は減少しているものの、認定率は増加した旨、資料を基に報告があった。
事前質問	――― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第１号「令和６年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出当初予算の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２号「令和６年度伊勢崎市学校給食センター事業費に係る特別会計歳入歳出当初予算の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部副部長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３号「伊勢崎市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。

	≪教育長≫ 　要は申請の簡便化、今まで非常に細かなことを求めていたのですが、一部簡略化するとともに、本人が直接来て申請をお願いしていたのですが、それを電子手続きできるようにということから、それに伴って様式の変更ですとか、規則で使われている文言を整理しましたというのが今回の規則改正の趣旨でございます。 ≪里見委員≫ 　申請の簡便化ということが主な背景というように受け止めましたが、奨学金の返済について、例えば一部滞るという背景があってこのような改正に至ったということではない、という理解でよろしいですか。 ≪総務課長≫ 　その通りでございます。滞る方も確かにいらっしゃるのですが、これはもっと簡単にといいますか、今まで複雑なものがあるので、そちらを見直した中でさらにＷＥＢ申請をしてできるだけやりやすく、申請しやすくします、そういったことを考えております。 ≪教育長≫ 　潜在的に必要としている方がいるのであれば、借りていただく方をもっと増やしたいと。そういうことから手続きの簡便化ということを、その一つとして対応していったということでございます。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 　議案第４号「令和５年度伊勢崎市立幼稚園の休園について」教育長から上程があった。 　学校教育課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 　公立幼稚園の役割、また公立幼稚園の良さというものを堅持していきたいということが教育委員会としての考えではございますが、特に三郷地区は私立のこども園・保育園が充実している地域でもあり、なかなか三郷幼稚園を選択していただけないというような状況もあるかと感じています。そんなことからこうした、やむにやまれぬ事態になっているということでございます。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について 　２月１３日（火）午前１０時００分　　本館５階職員研修室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 　以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年２月１３日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年２月１３日（火）
開催の場所	伊勢崎市役所　本館５階職員研修室
	◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言
	※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 野　口　裕　孝（教育長職務代理者） 山　洞　広　美（委員） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員）
	※説明のため出席した者 教育部長　小林康人 教育部副部長　二上哲也 総務課長　本巣徹 総務課政策調整担当　井野幸枝 教育施設課長　井上賢一 学校教育課長　小保方祥浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　町田明子 学務課長　横堀康宏 健康給食課長　山本雄一 生涯学習課長　百瀬剛志 図書館課長　和佐田靖子 文化財保護課長　新井信也
	※総務課職員出席者 書記　半田素美 書記　町田彩 書記　神村英里
開会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として野口裕孝委員、山洞委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ―――

	１／１８の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― １／１８の会議録に署名をいただいた。 教育長、野口裕孝委員、野口理英子委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪総務課長、学校教育課長≫ １.「令和５年度（いせさき元気大賞）の受賞者について」、総務課長から事業概要及び総務課推薦の団体１件、学校教育課長から個人で１１件、団体で９件受賞した旨、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ２.「令和５年度群馬県教職員表彰の受賞者について」、本市から貢献部門、優秀教職員部門、奨励部門の３部門において受賞者がいる旨、資料を基に報告があった。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ ３.「令和６年度四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜検査について」、２４８人の志願者に対して１月２０日に選抜検査を実施し、１２８人が合格になった旨、資料を基に報告があった。 ≪図書館課長≫ ４.「いせさき学習堂　郷土文化講座及び関連資料展示について」、３月９日に（のこぎり屋根紀行）と題し、前橋市出身の吉田敬子さんを講師として招き開催する旨、資料を基に報告があった。 ≪図書館課長≫ ５.「市史編さんシンポジウムの開催について」、３月２３日に絣の郷にて前澤和之専門委員長による記念講演や四ツ葉学園中等教育学校地域歴史研究会による活動報告、トークセッションの３部構成で開催する旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ６.「令和５年度赤堀歴史民俗資料館収蔵資料展（御殿飾りのおひなさま）の開催について」、年代が明確な御殿飾りを軸として、大正から昭和期の雛人形が展示される旨、資料を基に報告があった。
事前質問	――― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第５号「令和５年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第１１号）の見積り等について」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第６号「令和５年度伊勢崎市学校給食センター事業費に係る特別会計歳入歳出補正予算（第２号）の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部副部長から資料を基に説明がされた。

	（質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第７号「令和６年度伊勢崎市教育行政方針案について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第８号「伊勢崎市立小学校及び中学校管理規則及び伊勢崎市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ３月１５日（金）午後２時　　北館４階会議室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年３月１５日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和６年３月１５日（金） 伊勢崎市役所　北館４階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言 ※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 野　口　裕　孝（教育長職務代理者） 山　洞　広　美（委員） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） ※欠席委員 山　洞　広　美（委員） ※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 教育部副部長　　二　上　哲　也 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教育施設課長　　井　上　賢　一 学校教育課長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　横　堀　康　宏 健康給食課長　　山　本　雄　一 生涯学習課長　　百　瀬　剛　志 図　書　館　課　長　　和佐田　靖　子 文化財保護課長　　新　井　信　也 スポーツ振興課長　　星　野　忠　良 ※総務課職員出席者 書　記　　半　田　素　美 書　記　　町　田　　彩 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として山洞委員、里見委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課

	長、図書館課長、文化財保護課長、スポーツ振興課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ――― ２／１３の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ２／１３の会議録に署名をいただいた。 教育長、野口裕孝委員、山洞委員（後日）署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪教育部長≫ １.「令和６年第１回伊勢崎市議会定例会における教育委員会に関する一般質問の答弁概要について」、資料を基に報告があった。
事前質問	――― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第１０号「伊勢崎市教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償の支給等に関する規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第１１号「市教育委員会が任命権を有する教職員の任免について」教育長から上程があった。 人事案件のため、秘密会にて審議したい旨の発言があり、委員了承により秘密会での審議となった。 議案第１２号「伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 健康給食課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第１３号「令和６・７年度 伊勢崎市スポーツ推進委員の委嘱について」教育長から上程があった。 スポーツ振興課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ スポーツ推進委員という方々はどのような活動をされているのか、概要で結構なのですが教えていただけますか。 ≪スポーツ振興課長≫ 主な内容といたしましては、例えば市のスポーツイベントでありますレクリエーションスポーツ祭だとか、ラジオ体操会、あとはシティマラソン等、その他スポーツイベントの時に御依頼をして、活躍をしていただいてございます。主にスポーツの時のイベント等のボランティアなども積極的に活動していただいております。

	（そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ４月１８日（木）午前１０時００分　　北館４階会議室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年４月１８日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年４月１８日（木）
開催の場所	伊勢崎市役所　北館４階会議室
	◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言
	※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員）
	※説明のため出席した者 教育部長　小林康人 教育副部長　二上哲也 総務課長　本巣徹 総務課政策調整担当　井野幸枝 教育施設課長　井上賢一 学校教育課長　小保方祥浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　町田明子 学務課長　関根由夏 健康給食課長　百瀬剛志 生涯学習課長　髙橋浩一 図書館課長　和佐田靖子 文化財保護課長　吹上惠一
	※総務課職員出席者 書記　阿左美裕美 書記　石倉雄輔 書記　神村英里
開会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として野口委員、矢島委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回、前々回会議録の承認 ――― ３／１５、３／２５の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ３／１５、３／２５の会議録に署名をいただいた。 ３／１５　教育長、山洞委員、里見委員署名 ３／２５　教育長、里見委員、野口委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪図書館課長≫ １.「「こどもの読書週間」に合わせた各種事業について」、市内の各図書館で子供を対象とした事業を行う旨、資料を基に報告があった。 ≪山洞委員≫ 最初の「本のお楽しみ袋」のことなのですが、子供向けとありますがこの対象年齢は何歳くらいからになりますか。 ≪図書館課長≫ 幼児向けから中学生向けまで、子供向けの本をそれぞれセットしてご用意しておりますので、全ての方々が来ても選んでいただけるようになっております。 ≪里見委員≫ この「特別イベント」というのは、どのくらい前から伊勢崎市では取り組んでいらっしゃるのでしょうか。 ≪図書館課長≫ 本のお楽しみ袋はコロナ前から行っておりますので、定着したイベントとなっています。ぬいぐるみのおとまり会も 10 年くらい行っていると思うのですが、毎回お子さんたちにとても楽しみな事業として喜んでいただいております。 ≪教育長≫ その辺の経緯に詳しい政策調整担当、いかがですか。 ≪政策調整担当≫ 私の記憶によりますと、おとまり会に関しては私が課長で和佐田課長が奉仕係長の時に始まりました。これがアメリカから入ってきた事業でして、それが日本のいくつかの図書館で始まっていたということ、我々も常に全国の図書館の動きをチェックしている中で見つけまして、これは是非伊勢崎でもやってみようということで行ったところ、子供たちに喜んでいただけて、特にお子さんを連れて来るおばあちゃんがすごく喜んでくださって。またおばあさまが、ご自分が SNS で繋がっている全国のお友達に発信しておいたから、なんて言っていた記憶があります。また図書館の方も写真など手をかけて、本当に素敵なアルバムにして子供たちに渡して、なおかつ子供がぬいぐるみを持ってきた時に、お母さまや一緒に来てくださった方に「家ではどんな本を読んでらっしゃいますか」と何となくインタビューをして、それに見合ったテーマの本を夜ぬいぐるみが図書館でその本を読んでいると。その読んでいるところを写真に撮って、またその本をお迎えに来た子供に貸し出すというような、本当にきめ細かにやっているサービスで、図書館も手をかけて子供たちと図書館の接点、また子供たちと本の接点を生み出すような取り組みとなっているところです。 本のお楽しみ袋も全国の図書館のリサーチの中で生まれた事業でありまし

	て、これもワクワク感を子供たちに覚えてほしい、本との出会いを演出したいという思いで始まりまして、これは子供だけではなく大人に向けても同じサービスが始まっているところでして、図書館の目玉のサービスになるかなと思っているところです。 ≪里見委員≫ 素晴らしい取り組みなので、是非継続していただけたらと思います。
事前質問	―― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第１６号「令和５年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第１３号）の計上に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 補正予算につきましては令和５年度中の提出が必要だということから、教育長の方で、代理で決裁させていただいたということです。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第１７号「伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ これは年１回の会議ですが、それぞれの立場から、それぞれが取り組んでいるいじめの問題に対する取り組みのようなものはお互いに情報交換するのですか。 ≪学校教育課長≫ 今教育長さんからお話いただいたように、昨年度は山洞委員さんに副会長として議事を進めていただきまして、それぞれの立場からいじめに対する取り組み、子供たちへの支援という視点でご意見を頂戴しました。それぞれの立場からの取り組みを持ち帰って、それぞれ深めていただくよう、山洞委員さんにうまくまとめていただいた会であったと記憶しています。 年１回ということですが、その後必要に応じて招集する場面があるというように規定されていますので、複数回になることもあり得るというようにご理解いただければと思います。大きな問題や課題等が無ければ１回で、共有の場としてそれぞれの立場で子供たちを支援していくことを共有していく形になるかと思っています。 ≪教育長≫ このいじめの問題というのは学校教育だけでは解決できない問題でもありますので、いじめというより犯罪行為に繋がるようなものもありますから、警察との連携ですとか、あるいは地方法務局のようなところからの人権侵害としての観点からであるとか、あるいは PTA だとか、そういう意味で大変大事な会議であると考えておりますので、ここでの情報交換や意見交換がますます深

	まってもらいたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ５月１６日（木）午前１０時１５分　　東館５階第４会議室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年５月１６日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年５月１６日（木）
開催の場所	伊勢崎市役所　東館５階第４会議室
	◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言
	※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員）
	※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 教育部副部長　　二　上　哲　也 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教育施設課長　　井　上　賢　一 学校教育課長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　関　根　由　夏 健康給食課長　　百　瀬　剛　志 生涯学習課長　　髙　橋　浩　一 図書館課長　　和佐田　靖　子 文化財保護課長　　吹　上　惠　一
	※総務課職員出席者 書　記　　阿左美　裕美 書　記　　石　倉　雄　輔 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として矢島委員、山洞委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ―――

	４／１８の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ４／１８の会議録に署名をいただいた。 教育長、野口委員、矢島委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪学校教育課長≫ １．「「いせさきプレ幼稚園」について」、市内在住の１歳以上３歳以下の未就園児とその保護者を対象に各幼稚園で体験会を実施している旨、資料を基に報告があった。 ≪山洞委員≫ 私の孫も幼稚園に入る前にプレ幼稚園で楽しく時を過ごさせていただきました。幼稚園に入る時って、やはり親御さんも子供さんも不安いっぱいで来るものですから、泣く子供さんもたくさんいらっしゃると思うのですが、プレ幼稚園に参加することによって幼稚園にも慣れ、またお母さん方も不安が少しでも無くなるのではないかと思いました。入園式の時もプレ幼稚園に参加していた子供さんはほとんど泣く子供さんがいなくて、親御さんからすぐ離れて馴染んでいました。やはり親にしてみても幼稚園も色々慣れているものですから、余裕を持って第一歩を歩み出されたという感じですね。とても良いことだと思います。 ≪教育長≫ 実体験も交えてプレ幼稚園の良さをお伝えいただきました。ありがとうございます。 ≪矢島委員≫ いせさきプレ幼稚園というネーミングがいいなと思いました。先程山洞委員さんも仰っていましたが、参加する子供も保護者の方も安心する良い機会になると思うのですが、在園児にとってみると自分の後輩とまでは言わないけれども小さい子が来て楽しそうに遊んでいて、自分もシャキッとするというのがあって、少しお兄さんお姉さんになるというか、そういう双方の効果があるのではないかなと思って伺いました。 ≪教育長≫ ありがとうございます。在園児にとってもプラスになる行事だというお話です。 このプレ幼稚園、資料にもありますとおりこの後も 11 月まで継続するということで、多くの未就園児の親子の参加をしていただき、色々な悩みや不安の解消に努めていただくとともに、公立幼稚園の良さを知っていただければありがたいと思います。
事前質問	―― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第１８号「令和５年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書（案）につ

	いて」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 ≪里見委員≫ PDCA サイクル、評価報告書（案）の冊子の 1 ページ真ん中より下の箇所に「報告書については PDCA サイクルを取り入れ」という表現がありますが、このサイクルを回していくということは非常に大切なことだと思います。その中で、各課で点検評価報告書を作成されていらっしゃいますが、例えば学校教育課で点検評価をする上で、非常にこういうことに気を付けている、重点を置いて行っているということがありましたら教えていただけますか。 ≪学校教育課≫ この点検評価を実施する上では、学校教育課ですと各学校の子供たちの評価といいますか、成長度合いが必要になってきます。その上で、例年年度初めに学校教育構想ということで作成をさせていただき、それを各学校に周知をして、また学校だけではなく保護者も目にできるように、昔ならパンフレットを配っていたのですが、今はデータ配信をして広く見られるような形をとっています。また評価については、それぞれの学校の感覚だけでなく、アンケートであるとか、そういった実施等が必要になってきますので、毎年度子供たちからも調査等で客観的なデータを取るように心がけています。 ≪教育長≫ 特に学校教育に関する施策というのは、実際に施策が実行されるのは学校の現場ですから現場に分かりやすいような教育構想を下ろして、そしてそれに基づいて子供や保護者、結果を学校評価という形で色んなアンケートを取るなり、またその他の色んな、学習であれば学習に関するテスト等、そういった色々なデータに基づいた評価をしてきているという説明でした。ぜひこの PDCA、特に C から A に関するところをしっかりこれからもやっていきたいと思っています。ありがとうございます。 ≪矢島委員≫ 36 ページと 39 ページの郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成のところですが、たまたま私文化財の関係の企画展「伊勢崎藩を救え！」というシンポジウムをお聞きしましたが、ここに参加人数が 2,175 名と書いてありますけれども、毎回毎回聴衆の方々が会場いっぱいになるくらいで、質問がそれぞれ興味を持っている方々の質問で、伊勢崎にはこんなに「知りたい」と思っていらっしゃる、生涯学習に興味をもっていらっしゃる方がたくさんいらっしゃって、それに応える企画がされていると思って大変勇気づけられました。 そして 39 ページなのですが、これも 3 月 23 日に市史編さんのシンポジウムがあったと。それも参加させていただきましたけれども、絣の郷の会場いっぱい四ツ葉学園の学生さんと卒業生の方と、それから聴衆の方々と、伊勢崎の歴史や持っている文化について大変興味を持っている方々がいらっしゃるのだなと思って驚きました。 ≪教育長≫ 矢島委員からご指摘のとおり伊勢崎の歴史や文化に興味・関心を持って、そしてこうして共に学ぶ機会を得てこの地域への誇り、愛着を持っていただくという機会になっているのかなと思います。ただこれもやはり企画が大切ですよね。多くの方に参加をいただけるような、また興味を持っていただけるような

	企画に文化財保護課の方で、また赤堀歴史民俗資料館の方で尽力されている結果もあるのかなと思っております。是非、こんなことをやったらよいのではないかというようなアイデアがありましたら教えていただければと思います。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第１９号「伊勢崎市奨学生選考委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２０号「伊勢崎市臨海学校条例施行規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育施設課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２１号「伊勢崎市学校運営協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２２号「第二学校給食調理場食器洗浄機取得に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 健康給食課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２３号「学校給食用食器取得に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 健康給食課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ くわまるのキャラクターを入れるのは、もう既に入っているのでしたか。 ≪健康給食課長≫ 既に入っています。そのまま継続していく形になります。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２４号「豊受公民館新築工事請負契約の締結について」教育長から上程があった。 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 現時点での開館予定はいつになりますか。 ≪生涯学習課長≫ 令和７年の４月１日からになります。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２５号「伊勢崎市社会教育委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教

	育長から上程があった。 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２６号「伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２７号「伊勢崎市史編さん委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 図書館課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ６月２０日（木）午前１０時　　北館４階会議室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊勢崎市教育委員会会議録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年６月２０日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和６年６月２０日（木） 伊勢崎市役所　北館４階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言 ※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員） ※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 教育部副部長　　二　上　哲　也 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教育施設課長　　井　上　賢　一 学校教育課長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　関　根　由　夏 健康給食課長　　百　瀬　剛　志 生涯学習課長　　髙　橋　浩　一 図書館課長　　和佐田　靖　子 文化財保護課長　　吹　上　惠　一 スポーツ振興課長　　星　野　忠　良 ※総務課職員出席者 書　記　　阿左美　裕美 書　記　　石　倉　雄　輔 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として山洞委員、里見委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長、スポーツ振興課長の指名があった。

前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ――― ５／１６の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ５／１６の会議録に署名をいただいた。 教育長、矢島委員、山洞委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪教育部長≫ １.「令和６年第３回伊勢崎市議会定例会における一般質問等の答弁概要について」、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ２.「中学生グローバルイングリッシュキャンプ結団式について」、今年度は東京のグローバルゲートウェイにて７月２９日より３泊４日間行われる本研修に先立ち、５月２９日に第１回事前研修結団式が行われた旨、資料を基に報告があった。 ≪生涯学習課長≫ ３.「少年の主張伊勢崎市大会の開催について」、６月２７日午後２時からあずまホールにおいて開催する旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ４.「田島弥平旧宅世界遺産登録１０周年記念シンポジウムの開催について」、７月１４日午後２時から絆の郷円形交流館において、田島弥平旧宅調査整備委員会委員により基調講演及びシンポジウムを行う旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ５.「令和６年度赤堀歴史民俗資料館企画展「歴史いきもの図鑑」の開催について」、資料館で収蔵する生き物に関する資料を約１００点展示し、併せて群馬県立自然史博物館学芸員の姉崎智子さんを招き歴史文化講座を開催する旨、資料を基に報告があった。 ≪教育長≫ 報告にございましたとおり、本議会の一般質問でも大変教育関係の質問をいただきました。執行部といたしましては、答弁させていただいた内容に沿って今後の事務執行に当たるとともに、特にだいぶ関心をいただいた不登校の問題、議会からも関心をいただくことは大変ありがたいことですけれども、今後その対策に向けた予算ですとか、そういったことについての審議などもいただけますよう進めてまいりたいと考えております。 それから２点目の学校教育課長からありましたイングリッシュキャンプの後、いせさき Mirai ワークショップで、子供たちの発言の中で子供たちが非常に子供っぽい要望を市長に「遊園地を作ってくれ」だとか、そういった話が出るかと思ったのですが、そうではなくて、伊勢崎の良いところは外国籍の人たちがたくさんいるところだと。これは伊勢崎市の強みであると。それからこれからの夢として伊勢崎が安全・安心な街になってもらいたいという中で、当然犯罪や災害ということも出ましたけれども、それ以上に私たち中学生が考えている安全は「心の安全」なんです、という意見が出ました。心の安全というのは学校においてはいじめがないだとか、地域社会においてはみんなで助け合う

	だとか、私たちが考えていた以上にしっかりとした考えを持っていると、市長も大変そのことに感銘を受けておりましたけれども、子供たちの意見というものを大事にしていくということは私たちの今後の施策を考えていくうえで大事なことだということを思い知らされたひとときであったと思います。
事前質問	―― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第２８号「伊勢崎市学校給食運営委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」 健康給食課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第２９号「伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３０号「伊勢崎市あずまホールの指定管理の候補者の選定に伴う諮問に係る臨時代理の承認について」 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３１号「伊勢崎市赤堀図書館の指定管理の候補者の選定に伴う諮問に係る臨時代理の承認について」 図書館課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３２号「令和６・７年度伊勢崎市スポーツ推進委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」 スポーツ振興課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３３号「令和６・７年度伊勢崎市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」 スポーツ振興課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ スポーツ推進審議会というのは主にどのような審議をしている委員会なのでしょうか。 ≪スポーツ振興課長≫ 基本的にはスポーツ推進計画、私たちはそれに則って仕事をするわけですが、その計画を作成するのに委員さんの意見聴取などを行いました。また、今後のスポーツに関する、例えば直近ですとプールの廃止にあたっての意見聴取ですとか、これから行われますスポーツ振興全般の意見を随時この方々にオブザーバー的に意見をいただいて、それを反映させていくというようなことでやっていただいております。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３４号「令和７年度伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜実施要

	項の一部変更について」 四ツ葉学園中等教育学校事務長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３５号「令和７年度伊勢崎市立幼稚園の定員について」 学務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３６号「伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」 文化財保護課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ７月１８日（木）午前１０時００分　　教育研究所
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年７月１８日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和６年７月１８日（木） 教育研究所 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言 ※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員） ※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教　育　施　設　課　長　　井　上　賢　一 学　校　教　育　課　長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　関　根　由　夏 健　康　給　食　課　長　　百　瀬　剛　志 生　涯　学　習　課　長　　髙　橋　浩　一 図　書　館　課　長　　和佐田　靖　子 文　化　財　保　護　課　長　　吹　上　惠　一 ※総務課職員出席者 書　記　　阿左美　裕美 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として里見委員、野口委員、議案の説明者として教育部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ――― ６／２０の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ６／２０の会議録に署名をいただいた。 教育長、山洞委員、里見委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪学校教育課長≫ １.「Ｐ－ｒｏｏｍの設置状況について」、寄附金を活用し、各校の実態に応じた物品等を購入、設置することで、校内に安心できる居場所づくりを進めている旨、資料を基に連絡があった。 ≪学校教育課長≫ ２.「伊勢崎佐波地区いじめ防止フォーラムについて」、６月１３日、玉村町文化センターにおいて行われた小・中・高校生及び特別支援学校の代表者による意見交換を通じ、いじめ防止に向けた取組みの活性化や良好な人間関係の促進を図った旨、資料を基に報告があった。 ≪生涯学習課長≫ ３.「少年の主張伊勢崎市大会の結果について」、市内の代表者５名について、資料を基に報告があった。 ≪図書館課長≫ ４. 「夏休み子ども向け事業について」、一日図書館員の事業を昨年度から回数を増やして実施したり、映画の上映会を開催したりする旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ５.「赤堀歴史民俗資料館夏休み小学生向け事業について」、クイズラリーや機織り体験の実施に加え、石臼や黒電話を回す体験を実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪山洞委員≫ 図書館のことでお聞きします。一日図書館員、大変好評だということですが、５名というのはちょっと少ないかなと思うのですが、大体どのくらいの人数が妥当な人数でしょうか。それと、その下のとしょかんこども会というのはどのような内容なのか教えてください。 ≪図書館課長≫ 一日図書館員につきましては様々な体験をしていただくということで、例えば図書館のカウンターでの返却・貸出、それ以外でも本の修繕ですとか、ブックコート掛けなどいろいろなことをやっていただきたいというのがありまして、1回の人数は5人ということで少ないのですが、午前と午後と開催しますので1日10人、また今年は先程お話しましたように上旬と下旬ということで、2回各館で開催しますので、希望されるお子さんが参加しやすくなっているのではないかと思います。またとしょかんこども会は子供向けに読み聞かせを行うものでして、夏休み、季節に合った本を中心に読み聞かせするという予定になっております。 ≪山洞委員≫ ありがとうございます。としょかんこども会の読み聞かせというのは大体どのくらいの年代を対象として、何回かに分けてということでしょうか。 ≪図書館課長≫

	時間としては 11 時からの 1 回なのですが、幼児から小学生くらいまでご参加いただけるような本を読んで、その場で来ていただいたボランティアの方が読み聞かせしてくださるのですが、その場で来ていただいたお子さんに合わせた本を選んでいただくこともしていただけますので、楽しんでいただけるかと思います。 ≪里見委員≫ 赤堀歴史民俗資料館夏休み小学生向け事業についての中で、3 番の昔の道具を回してみようという企画があるのですが、非常に面白い企画だと思いました。「回す」ということは昔から行われてきた作業かと思うのですが、この「回す」ということについてなぜここに着眼されたのかというのが一点と、それから「回す」といいますと私が小さい頃、洗濯機の脱水機がぐるぐる回して衣服の水分を絞るような洗濯機もありましたけれども、折角ですから石臼、黒電話だけでなくて、発展的に回すものというようなことで、昔こういう風にやっていたのだなということが分かるようなことも加えていっていただけると、よりいいのではないかと思うのが二点目になります。 ≪文化財保護課長≫ 着眼点としてのお話だったのですが、以前から黒電話を寄附いただいて、黒電話といっても当時の年代によって少し種類が違うものが何個かありまして、実際に通話はできないのですが、回して体験していただいていたところです。それに関連して石臼についても保有していた石臼を活用してやっていたところを、両方「回す」だね、というところでグルーピングして、今回イベントとして機織りを待っている間に体験していただこうというところで、ボランティアの会の方にも見ていただいたりして、まずは体験していただくと。それ以外にも回すものなのですが、繭の糸を紡ぐものはあるのですが、今回はやっていないので、今後についてはそれを体験していただくというところを考えております。洗濯機も小さい版の、丸い球体の洗濯機は展示でありますので、それも体験できるとよいのですが、あまり数が無いので今後どうするか検討していきたいと思います。 ≪教育長≫ ありがとうございました。「回す」という動作を通した歴史、文化を子供たちに体験してもらおうという企画ですが、ぜひこれも膨らませていくと先程いただいたお話のように面白いかなと思います。 ≪野口委員≫ 一つは感想と、もう一つは質問なのですが、今、昔の道具を回すということで、私も面白い企画だなと思っていました。ついこの間、高齢者施設を見学する機会があって、そこにも古い道具がたくさんあったのですよね。施設の方に聞いたら、認知症の方だと新しいことは覚えられない、忘れてしまうのですが、昔自分が使っていたものはちゃんと覚えていて、そういうのを使ってみたり、使い方を小さい人に教えたりすることで、自尊心が保たれたということもあるのですよというお話を伺ったので、子供向けの事業ということではあったのですが、高齢の方もたくさん参加していただけるような機会になるといいなと思いながらお話を伺いました。 もう一つが P-room のことについてなのですが、これも子供たちがなかなか教室ですごくざわざわしていて、刺激がたくさん入ってくるようなところでは

	苦痛に感じられる子もいるだろうと思うので、こういうところが居場所になるというのはすごく素敵なことだなと思いました。こういう教室というか、お部屋ができた時に、そこで対応する先生というのはどういう風に組まれているのかな、と、学校によっていろいろな形になるのかなと思うのですが、教えていただきたいなと思いました。 ≪学校教育課長≫ 現在の P-room については、今年寄附によって予算をいただいたものですから、新たに作っているものということで、常駐している職員は現在おりません。活用方法について学校に考えていただいているところなので、実際には学校にいる相談員であるとか、スクールカウンセラーであるとか、支援員であるとか、様々な方が入ったり、また空き教室の職員が入ったりということで、学校ごとに工夫しながら訪れた子供たちの対応をしているところです。今御指摘いただいたように、今後学校等の要望を伺いながら、どういう形で職員等を配置していく必要があるかということについては検討してまいりたいと考えています。 ≪教育長≫ この P-room の充実というのが、誰一人取り残さない教育、環境整備の一つとなればと考えているところで、人をどう充てるかという大変大きなこれからの課題だと考えています。 ≪矢島委員≫ 少年の主張のことです。参加させていただいての感想になるのですが、発表された中学生の方々が、堂々と自分の意見を述べているということに大変驚きましたし、感動しました。それから、言葉を通して自分の考えを伝える、その姿勢、当然主張なので言葉なのですが、伝わってくる言葉がとても着実で、印象深かったです。きっと発表するにあたって自分が何を言いたいのかということを、繰り返し繰り返し練習というか、推敲したのだと思うのですよね。その過程と言うのは発表者にとっては大事なことだと思うし、結果聞いた人も 14、5 歳の子がこのように考えているのかと感動する、そういうこともたらす会だったと感じています。ありがとうございました。一般の方々が聞いていらっしゃったのですが、そのような方の声も、発表された方にリターンしてあげると、そうだったのだなという元気になるというか、自分の姿を鏡で見るような効果もあるのかなと感じました。 ≪教育長≫ 聞いていただいた方の感想等を子供たちにフィードバックするというのは、子供のさらなる成長に繋がりますし、また大きな自信にもなると思いますので、工夫していきたいと思います。
事前質問	――― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第３７号「令和７年度使用教科用図書の採択について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 ≪山洞委員≫

	質問というよりは感想になってしまいますが、先程拝見させていただきまして、今の教科書は子供たちが学習に対する意欲を持てるように工夫が施されていて大変関心いたしました。また特にQRコードを使うことにより、興味を持っているものに対してはより深く追求することもできると思います。子供たちがそのことに興味を持つということは、将来を考えるうえでも、教科書が重要な役割を果たすと感じました。私は昔の人間ですので、開くと閉じたくなるような教科書を使っておりました。それを思いますと、今の子供たちは幸せだなと感じました。 ≪里見委員≫ 教科用図書の採択に際して、QRコードはどの程度重視されましたでしょうか。お答えいただければと思います。 ≪学校教育課長≫ 現在の教科用図書においては、ご覧になっていただいたようにQRコードが大変多く掲載されており、動画や解説などが見られるようになっていることは採択にあたって大きな視点と考えています。そこで以前から分かりやすくなるための工夫として掲載されている挿絵・図表・写真等と同様に考えて、同じ基準の中で調査研究を行ってまいりました。 ≪野口委員≫ 資料5の内容の理解ができていない部分もあるのですが、採択基準というのはどういったタイミングで基準というのが決まって、時代時代によって子供たちに身に着けてもらいたい能力とか、技術は変わってくるのではないかと思うのですが、そのあたりの採択基準がどんな風に決められているのかということについて教えてください。 ≪学校教育課長≫ 教科ごとに調査委員会を実施しております。その調査委員会の中で、そちらの基準についても検討して定めております。先程言っていただいたように、この時代時代に合ったもの、ということも加味しながら、例えば基準の一つの中には、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の実現のためにどのような配慮がなされているか、という、今求められている資質・能力なども基準の一つとして各教科の中で定めております。また時代の流れ、学校の実態等も含めて、調査委員会ごとに定めております。 ≪野口委員≫ 突っ込んだ質問かもしれませんが、その採択基準というのは、一般には公開されないものなのでしょうか。 ≪学校教育課長≫ ９月１日以降に、こちらの公開可能なものについては公開する予定となっておりますので、開示請求をしていただく形で、ということになります。 ≪教育長≫ ８月いっぱいはまだ採択期間ということになりますけれども、採択基準も公開の対象であるということでございます。 ≪矢島委員≫ 先程教科書を見せていただきましたけれども、今の課長さんのお話の中では慎重な審議を経て採択をされているということを伺いました。教科書を見ている中で綺麗なのだなと思って、私が子供の頃は白黒が多かったものですから、

	今はどの教科書も綺麗な印刷で、反面重たくなると思います。小さな子供たちが教科書を背負って学校へ行くという、そんなことも頭を過りましたがそのようなことはどのように考えていらっしゃいますでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 教科用図書の重さについては、生徒の負担を考えた時には本当に配慮する必要があると我々は考えております。現状ほぼすべての発行社が扱いやすさ・見やすさ・丈夫さなどを踏まえて、以前よりも重たくなってきています。また、一年間を見通して学習ができるよう、以前ならば分冊として上下という形であったものも、一冊にまとめているという傾向もございます。正直より重くなってきているという実情はございます。教育委員会としては、教科用図書の採択にあたっては重さを重視することよりも家庭学習などで必要な教科用図書や教材以外は学校に置いて帰宅することも積極的に推進することで生徒の負担軽減に努めてまいります。現在の校長会等で、昔ならば必ず教科書は持ち帰ってくれという話をしているところなのですが、現在は子供たち、特に小学生等の負担を考えて教科書を置いていくとか、無くても学習ができるようになど、そういった配慮もしています。これは実際一人一台端末が普及していることも若干影響があるかなと思っているところです。 ≪矢島委員≫ 実は私子供の教科書を、国語の教科書や地図帳などを時々読み返してみることがあり、地図帳はとても役に立っています。だから、教科書として採用されるということは、もちろん子供がメインなのですが、大人の重要な資料にもなるのかなと私は思っています。そこで、慎重な審議をされたと伺いましたが、どんな点を重視されたのですか。 ≪学校教育課長≫ 一例として国語の場合で具体的に示させていただきますが、国語ならば調査委員会において、評価基準を具体的に申し上げますと、資質・能力の育成を目指す主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の実現のためにどのような配慮がなされているか。言語能力・情報活用能力・問題発見・課題解決力等の強化等、横断的な資質・能力の育成に向けどのような配慮がなされているか。教材の選定、題材の設定、配列等にどのような配慮がなされているか。文章・挿絵・図表・写真等、こちらにQRコードも含まれます、の表現・内容・構成及び分量等にどのような配慮がなされているかなどの観点から考えてまいりました。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３８号「伊勢崎市あずまホールの指定管理者の候補者の決定について」教育長から上程があった。 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第３９号「伊勢崎市赤堀図書館の指定管理者の候補者の決定について」教育長から上程があった。 図書館課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）

	議案第４０号「四ツ葉学園屋上防水改修工事請負契約の締結について」教育長から上程があった。 四ツ葉学園中等教育学校事務長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ８月２０日（火）午前１０時００分　　本館５階職員研修室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊勢崎市教育委員会会議録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年８月２０日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年８月２０日（火）
開催の場所	伊勢崎市役所　本館５階職員研修室
	◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言
	※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員）
	※説明のため出席した者 教育部長　小林康人 教育部副部長　二上哲也 総務課長　本巣徹 総務課政策調整担当　井野幸枝 教育施設課長　井上賢一 学校教育課長　小保方祥浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　町田明子 学務課長　関根由夏 健康給食課長　百瀬剛志 生涯学習課長　髙橋浩一 図書館課長　和佐田靖子 文化財保護課長　吹上惠一
	※総務課職員出席者 書記　阿左美裕美 書記　石倉雄輔 書記　神村英里
開会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として野口委員、矢島委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ―――

	７／１８の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ７／１８の会議録に署名をいただいた。 教育長、里見委員、野口委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪学校教育課長≫ １.「臨海学校について」、コロナ禍を経て、昨年度から１泊２日で本市及び玉村町の計２８校が単独入校で自然体験活動を行った旨、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ２.「中学校グローバルイングリッシュキャンプ in 東京について」、海外語学研修に代わる語学研修として、東京グローバルゲートウェイにて７月２９日から８月１日までの３泊４日で行われた旨、資料を基に報告があった。 ≪生涯学習課長≫ ３.「少年の主張中部地区大会及び群馬県大会の結果について」、８月３日前橋市中央公民館において開催され、本市から参加した５名が優秀賞を獲得した旨、資料を基に報告があった。 ≪教育施設課長≫ ４.「中学校及び四ツ葉学園中等教育学校体育館への空調設備設置の完了について」、中学校１１校及び四ツ葉学園中等教育学校への空調設備の設置が７月中にすべて完了した旨、資料を基に報告があった。 ≪山洞委員≫ ２番の「グローバルイングリッシュキャンプ」についてですが、外国の方との交流の中で英語を深く学ぶことによって、より一層世界が広がったことと思いました。参加生徒は４０名ということですが、多くの生徒さんに経験していただきたいと思える企画だと思います。そこで伺いたいのですが、参加費用等はどのような形になっていますか。 ≪学校教育課長≫ 参加費用は９万円で、基金から一人あたり３万円の補助が出ております。それ以上については実費負担です。３泊４日の中で充実した活動ができたかと思います。 ≪里見委員≫ 同じく２番の「グローバルイングリッシュキャンプ」についてですが、昔は海外、ミズーリ州で研修を行っていたところですが、今回は国内で行ったということで、大きな変化はありましたか。 ≪学校教育課長≫ コロナ禍前では中学３年生が７０名、ミズーリ州に行っていて、現地でネイティブの方々と話す経験をさせていましたが、これを超えることはないと思っております。それでも今回の東京グローバルゲートウェイでの研修内容は充実しており、エージェントと呼ばれる方々の指導力は我々を含めた教職員でも多々学ぶことがあるほどで、充実した内容であったと思っております。また、今回は４０名ということで、非常に意欲の高い子どもたちでしたので、東京グローバルゲート

	ウェイ基準でいうと高校１年生レベルの研修を受けました。来年度以降は、子どもたちだけではなくて、市内の教職員の研修という面でも有効活用できればいいと考えております。なので、海外での語学研修とは違った意味でのよい体験ができたと理解しております。 ≪里見委員≫ 　４０名の生徒の選抜方法はどういったものですか。 ≪学校教育課長≫ 　それぞれの子どもたちが公平に選抜されるように各学校において面接等を実施し、最終的に学校教育課で選抜をさせていただいております。今回は４０名を超える希望者がありましたので、そういった選考をさせていただきました。 ≪矢島委員≫ 　「グローバルイングリッシュキャンプ」の研修日程概要版を見ると、「英語を楽しむ」とか「Speech」とか「聞き取り」とか、そういったところに重点があったと思うのですが、外国の方々の持っている文化の理解という面でのプログラムがあったのかということをお聞きしたいです。 ≪学校教育課長≫ 　「SDGs」に関してとか、貧困だとか、そういうものについてディベートをするという形の中で、非常にグローバル的な視点での話が中心となっているとご理解いただければと思います。また、文化的な面ですと、エージェントがグループにつく際に、最初にウォーミングアップということで、自己紹介とかそういったことをします。アジア系の方もいればアフリカ系の方もいればアメリカ系の方もいらっしゃいます。子どもたちは毎日エージェントが変わる中でやっていくのですけれども、その中でエージェントの人となりといったものを感じることができます。驚いたことは、昼休みであってもエージェントは子どもたちに課題を出していきます。「お昼を食べながら、動画が流れるから英語で答えてね」とか、東京グローバルゲートウェイにいる各国の方々の紹介をしたあとに「私の国はどこでしょう」とか、「私の国はこういったことが常識ですけれど、私の国はわかりますか」というふうに話をしていくので、いろいろな工夫がなされているのだなと思いました。子どもたちにとっては、よい研修ができたなと思っております。 ≪野口委員≫ 　私も選抜のことが気になったのですけれど、公平にやってらっしゃるということで、たくさんのお子さんに体験の機会があるといいなと思いました。 ≪矢島委員≫ 　選ばれた４０名の子どもたちが学校に戻って、自分はこういう体験をしたということをリターンすると、今回は行かなかった子どもたちは外国の方々とのコミュニケーションの中から出会いというものがある、ということを学べますが、そういった機会が作られているのかお聞きします。 ≪学校教育課長≫ 　教育委員会からフィードバックの機会についての指示はしておりませんが、これまでの海外語学研修では、参加した生徒が文化祭とか学習発表会といったときに、研修報告をという形で、こんな研修でこんなことがよかったということを各学校で工夫して行っていました。今回も新形態になって学校から参加者を募り、また基金の支援を受けて行っているという認識はございますので、各学校でそれぞれ工夫して、全体発表するとか、学年又は後輩に向けて発表するとか、一律で

	はないですけれど、機会は与えられると理解しております。 ≪教育長≫ 初めての取組ですから、私も３日目の午後に視察に行ってきました。施設も素晴らしくて、飛行機の中、ドラッグストア、レストラン、ホテルのフロントなどが再現されています。そこに外国人の方が役になりきって子どもたちに体験を与えるんですね。そういった疑似体験をする中で、やはりメインはディベートですとかプレゼンテーションですとか、考えて、文化の違いを超えて、例えば環境問題とか、そういったものの議論を子どもたちが意欲的に研修していました。とにかく英語漬けです。エージェントが徹底的に英語漬けにしよう、英語を話させよう、という指導技術を持っていて、本当に日本語を使う隙を与えません。びっくりしたのが、休憩時間になっても日本人の子ども同士が英語でやり取りしていたことです。お昼を食べていてもエージェントが近寄ってきて話しかけてくる。すごい体験だなと思いました。これは私の感想ですけれど、子どもたちにとっては素晴らしい研修になったのではないかと思います。また委員さんから一人でも多くというご意見も出ましたので、次年度の検討としていければと思います。 ≪矢島委員≫ 臨海学校のことについて伺います。今、新聞などで「格差社会」という言葉を目にします。そして、それが反映されてか「経験格差」ということも話されています。臨海学校は、子どもたちが経験できるという点で重要な取組と思います。日数が減って１泊２日になって、不安が解消されたという点もあって、効果があるなと思いました。また、経験格差ということに戻るのですけれども、欠席された子もいらっしゃるのでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 正確な数は把握できていませんが、何名かは欠席しているという話は聞いています。ですが、ここに向けて、普段なら休みがちな不登校の傾向がある子も積極的に参加しているという理解をしています。どちらかというと、コロナ等も継続していますので、体調不良により欠席するというケースが多いと聞いています。 ≪教育長≫ 経済的な理由で参加できなかった、ということは聞いておりません。 ≪山洞委員≫ 中学校体育館の空調設備が完了したということを聞いて、ほっとしました。中学生の運動力は半端ないものですから、体育館の中でやっている姿を見ていると親としては心配だろうなあ、と思っていたので、本当によかったと思います。また小学校体育館の空調設備におかれましても来年度末までには、ということでお伺いしまして、本当によかったと思っています。これからの時代というのは、どのように夏の暑さが変化していくのか想像がつかなくて、今年みたいな状況ですと、体育館の中は運動のウの字も出ないような暑さで、中止する部活も多かったと思いますが、これで安心して運動に取り組めるかなと思います。 ≪教育長≫ 空調の入った中学校の体育館を、この夏休みにどのように使っているか、今の段階で入っている情報はありますか。 ≪学校教育課長≫ まず夏休みに入る前の終業式については、すべての中学校が体育館で対面の式を行えたという話を伺っています。体育館については、各学校、部活動で三分割

	とか、中には四分割で、ローテーションで使うということになっている学校が多いようです。また、市内では熱中症警戒アラートが発令された場合、空調が効いていない場所では原則中止ですが、外の部活動でも時間をずらして空調が入った体育館で活動し、体育館の空調を最大限使っていると報告を受けています。
事前質問	――― 事前質問 ―― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第４１号「令和６年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第３号）の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 ≪里見委員≫ 歳入の「２１　市債」で「教育施設整備事業債」というのがありますけれど、この「事業債」というものについて、概略、どういう仕組みになっているのかお聞きしたい。というのは、歳入の増額に対する市債の割合が大きいので、その仕組みをお聞きしたいということです。 ≪教育施設課長≫ この増額につきましては、今年度、工事を予定しております小学校１３校への事業費の設計が進みまして、空調能力や設置方式の決定に伴う工事費の決定に伴う増額でございます。その工事費につきまして、緊急防災・減災事業債という総務省で取り扱っている市債が１００％充当されるものとなっております。また、１００％といいましても、端数を処理しますので、歳出に対して端数に違いが出ております。 ≪里見委員≫ いわゆる債券を発行してどなたかが引き受けるというようなモデルでなくて、総務省からお金が出るという仕組みになっているということでしょうか。 ≪教育施設課長≫ この事業債については指定避難所になっていることについての空調設備の整備についてのものです。市債ですので、借金という形で返済はしていくのですけど、そのうちの７０％については地方交付税措置といいまして、返済額の７０％が国から地方公共団体に交付される地方交付税の算定基準に上乗せされる形になっております。返済はしていくのですけど、地方交付税として入ってくる部分があるということです。借入や返済の詳細については財政課でやっていますので、どういった形で、どこから借りようとしているのかは担当課では把握しておりません。 ≪教育長≫ 体育館が第一義的には指定避難所であるということから、この緊急防災・減災事業債というものが使えるということでございます。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第４２号「名和小学校南校舎長寿命化改修工事（債務負担行為）請負契約の締結について」教育長から上程があった。 教育施設課長から資料を基に説明がされた。

	≪里見委員≫ 件名の工事の後に（債務負担行為）とありますが、これはどういうものなのか教えていただきたいと思います。 ≪教育長施設課長≫ この工事は今年度、契約をいたしまして、今年度、来年度の２か年の事業として計画しています。そのため来年度分の予算の執行を約束するもの、という形で債務負担行為を取っているものでございます。債務負担行為は来年度の予算の執行を約束するという形になります。基本的には単年度予算ですので、新年度に新たに予算を要求するのですけれども、今回の契約は２か年分まとめて契約するものでございますので、来年度分の予算を確保する、約束をするということで債務負担行為が発生しております。 ≪矢島委員≫ 長寿命化とありますが、具体的にどういった内容になりますか。耐震化はすでにされていると思いますが。 ≪教育長施設課長≫ 今回の長寿命化工事の内容といたしましては、内外装の更新による建物の美観の回復が第一にございまして、また、建具の更新や内装の木質化がございまして、あたたかみのある快適な学習環境の確保、電気設備、給排水設備の更新による機能の回復、またエレベーターの設置や段差のスロープ化などバリアフリー化なども同時に行って、これから３０年、４０年という形で、長く使える形で更新を考えているものでございます。 ≪教育長≫ 長寿命化と言いますと、なんとか延命措置をしているような感じですけれど、そうではなくて、効率的な教育に合う施設に改修するということです。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第４３号「伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 健康給食課長から資料を基に説明がされた。 ≪野口委員≫ 今回、全幼稚園で給食が開始するとのことですが、あかぼり幼稚園、あずま幼稚園ではいつから給食が始まっていましたか。 ≪健康給食課長≫ 合併前からすでに給食の提供をしております。 ≪野口委員≫ 今回、このタイミングで全幼稚園に提供開始になったというのが、少し間が空いていたのかなと思うのですが、２学期からというタイミングにはどういう背景がありましたか。 ≪健康給食課長≫ 市内の幼稚園の給食の提供については、検討をしてきたところでございますが、幼稚園の施設、給食を配食する際の対応、設備の問題、また他の保育園の状況等を考慮してこれまでは提供できなかったのですが、今回、幼稚園の体制ですとか、給食センターの提供体制が整いましたので、開始することになりました。 ≪野口委員≫

	保護者も大分、負担が軽くなったように感じられると思いました。 ≪教育長≫ 合併前の町村は提供されていたわけですけれども、旧市内の幼稚園にはそもそも給食を受け入れる場所がなく、その設備面での問題が一番の課題でした。ただ保護者からは、お弁当や業者の仕出し弁当よりも、給食、食育というものをしっかりしたいとの要望をいただいておりました。そこで旧市内の幼稚園も給食を受け入れられるように改修をしたり、あるいは配送用の運搬車であるとか、あるいは給食を出す側の施設設備の一部を検討したりだとか、いろいろな取組をして、本年度から実施することになりました。なぜ２学期からという質問がございましたけれども、４月から始めようと考えていたのですが、昨年の段階で配送のトラックの手配がうまくいかず、注文しても何か月も先ということであったので、２学期からということになりました。 ≪山洞委員≫ 同じ調理場で中学生から幼稚園児までの給食を作るわけですけれど、献立等はどのようになっているのでしょうか。中学生のものを幼稚園児も食べるという感じでしょうか。 ≪健康給食課長≫ 献立の内容につきましては、第二調理場の栄養士が基準となる栄養摂取を考えたうえで、小学生と一緒のものになります。中学生と小学生のメニューは一緒なのですけれど、重量が変わってきます。基本的には幼稚園児につきましては小学生と一緒ということになります。 ≪矢島委員≫ 幼稚園で給食が提供されるということは、保護者の方、ＰＴＡの方が長い間、希望されていたことだと思いますので、大変喜ばしいと思います。食育の観点からも大事なことだと思っています。新学期が始まり、運動会もあり、諸行事があり、食育という観点で先生の役割も大きくなってくると思います。学校給食の意義もありますが、先生からも、食べることは大事だと指導していくことにも重点を置いていただけるとありがたいと思います。幼稚園の先生にも期待していますのでよろしくお願いします。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第４４号「伊勢崎市教育委員会の所管に係る情報公開条例施行規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について ９月２４日（火）午前９時３０分　　北館４階会議室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年９月２４日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和６年９月２４日（火） 伊勢崎市役所　北館４階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言 ※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員） ※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 教育部副部長　　二　上　哲　也 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教育施設課長　　井　上　賢　一 学校教育課長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　関　根　由　夏 健康給食課長　　百　瀬　剛　志 生涯学習課長　　髙　橋　浩　一 図書館課長　　和佐田　靖　子 文化財保護課長　　吹　上　惠　一 ※総務課職員出席者 書　記　　阿左美　裕美 書　記　　石　倉　雄　輔 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として矢島委員、山洞委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ―――

	８／２０の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ８／２０会議録に署名をいただいた。 教育長、野口委員、矢島委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪教育部長≫ １.「令和６年第４回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ ２.「入学者選抜説明会の開催について」、１０月２６日（土）に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて、午前、午後の２部制で開催する旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ３.「謎解きウォークラリー「くわまると行く！虹色の繭の秘密」の開催について」、９月７日より田島弥平旧宅にて行われており、ゴールした人には記念品がある旨、資料を基に報告があった。 ≪生涯学習課長≫ ４.「田島弥平旧宅世界遺産登録１０周年記念フェスタの開催について」、１０月２７日に田島弥平旧宅及びその周辺地域にて行われ、蚕種製造民家の公開や芸能発表会などの催しが行われる旨、資料を基に報告があった。 ≪里見委員≫ 「一般質問に対する答弁概要」の大木光議員の２の（１）「長期休暇の対応」に関連した質問ですけれど、今年度から夏休みが長くなり、そのために２学期が始まるのが遅くなったと認識しています。そこで昨年度に比べて子どもたちの夏休み明けの登校状況について、変化がありましたか。 ≪学校教育課長≫ ９月に入ってからの登校状況については各学校から聞取りを行っております。各校から順調にスタートができたと聞いている状況です。８月下旬に各学校に対して、新学期の登校が心配されている子たちについては丁寧な対応をとるように伝えています。夏休みが終わる前に面談をおこなったり、電話をしたり、中学生は部活動で声をかけたりして、表情等を丁寧に見ていると認識しています。今、夏休みの課題の在り方についても見直しを図っていて、昔のように８月の最後のところでたまった宿題をしっかりやるという流れではなく、宿題そのものを子どもたちが状況に応じて選べるようにして負担軽減を図り、宿題の提出についてもここまでにしなければならない、という指導を行っていません。 そういった見直しの中で、登校が心配されている子どもたちもおりますが、夏休み開始段階から所在や動向といった様子を丁寧に見ているところですが、例年以上に夏休みが長くなったことによって、逆に子どもたちを丁寧に見ているという現状をお伝えします。 ≪里見委員≫ 能動的な対応がなされているようで、大変よろしいと感じました。 ≪教育長≫

	夏休みの最後の１週間は新学期への助走期間ということで、各学校の宿題を提出する期間を何日間か設けて、宿題に苦しんでいる子については支援しているということです。夏休みの宿題そのものが子どもたちの選択制になってきているということです。 ≪矢島委員≫ 同じ質問の中でプールの話がありましたが、異常な気象が常態化する中で、危険防止ということは一番大切なことではありますが、市の教育を担うのが教育行政である中で、プールの時間が減ってくるということは残念であると思います。それと同時に、今後の暑さへの対応を子どもたちに体験というか、プールに入ったあとは熱が取れるわけですから、そういった機会も失われてくるとなるとどうなっちゃうのかなというふうに思います。 ≪教育長≫ プール指導が減ることが心配だと。プール指導は学校のプールでやったほうがいいのではないかと、そういうことでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 今回の答弁でもお答えしているところですけれど、まず実施時期につきましては時期を変更するということが、他の行事との兼ね合いもあることですから、広い視野に立って検討していきたいと考えております。学校としてもプールの指導が、今も言っていただいたように、命に係わる体験であるということで重要だと考えていますので、見直しをしていきたいと考えています。また、水泳機会の確保については学校プールということにとらわれず、また時期を問わずすることができる民営・公営の屋内水泳施設の利用など子どもたちがプールを利用できる機会を確保するためにいろいろなことを視野に入れて可能性を探っていきたいと考えています。 ≪教育長≫ いただいた意見のとおり、子どもたち自身が暑さから自分の身を守る、暑さに対応する力を身に付ける、そのための経験、学習というのも積極的にやっていかないと、暑いからあらゆる活動を制限して何もしないということではなく、暑さの中でどうやって自分の身を守りながら活動していく、ということが新たな教育課題だと思います。一方で答弁でも話をさせていただきましたが、泳力を高める水泳から水難事故から自分を守るような、例えば着衣泳だとかライフジャケットを身に付けて泳ぐだとか、そういう方向に水泳の指導を変えていかなければならないのではないかという議論も担当課の中ではしているところではございます。ご指摘のとおり、なんとしてでも危険を避けるということではそれらを乗り越える力が身につきませんので検討をしているところです。 ≪山洞委員≫ ５.「田島弥平旧宅」についてですが、境地区の貴重な世界遺産だと思います。ところが一度訪れれば二度と行くことはない、ということでも有名です。今回の１０周年記念フェスタ、そして謎解きウォークラリーと楽しい企画がたくさんありますので、一度行った方がまた行きたくなるような世界遺産にしていただければ、という気持ちです。母屋は住んでいる方もいらっしゃるので、それは仕方ないとしても、周りの施設がよくなっていても、みんなが見たいのはやはり母屋の中だと思います。私たちもなかなか母屋の中身は見る機会がありませんが、ウォークラリーにしても島村というのは金井烏州の墓があったり、田島弥平旧宅以外

	にもとても素晴らしい建物がたくさんあるので、多くの方に知っていただいて、普段は閑古鳥が鳴いていますが、鳴かないような世界遺産にしていただくのが一つの希望です。それからもう一つ、私は不登校児童について大変関心を持っております。それが増えている中で全校に一人ずつスクールカウンセラーがいるというのが、昔からすれば大変嬉しいことです。ただスクールソーシャルワーカーをもう少し増やしていただいて、なにかの時にはそこにいらっしゃる、一々来るということではなく、すぐ手の届くところにいらっしゃる、いつかそういう日が来るといいなと思っております。 ≪教育長≫ 事務局から答弁させていただいた通り、追い風をいただいているところでございます。しっかりやりたいと思います。 ≪野口委員≫ 不登校児童に対する支援体制についての質問ですけれど、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーは非常勤の方になると思いますが、教育相談員は全校に配置されているとなっていますが、現時点ではどういう配置がなされているのかお伺いします。 ≪学校教育課長≫ 教育相談員につきましては全校に配置をしているところでございます。中学校については週４日の勤務、小学校については２校兼務での週３日勤務で、週の半分という形になりますが、現在の不登校児のことを考えながら、さらなる拡充が必要であると考えております。各学校では相談員については不登校対策を含めてしっかり活用しているという認識でおります。各学校からの要望としても拡充が求められていると把握をしております。 ≪教育長≫ それぞれの職務の方の持つ専門性を発揮していただいて、連携しながら不登校の子たちを支えるだけでなく、予防にも努めていくということで、教員以外の専門性を持った方の力が必要であると考えているところです。 ≪矢島委員≫ 赤堀歴史民俗資料館の話ですが、展示や企画も工夫がされていると感じました。そこで学校との連携というのは考えていらっしゃるのかどうか伺います。子どもたちが歴史を学び始めたところで、埴輪が日本中から注目されている、それを子どもたちが知れば伊勢崎市はすごいところだと感じることができる。そういった考えで質問いたします。 ≪文化財保護課長≫ 赤堀歴史民俗資料館の関係について言えば、学校からは社会科見学で見えていただいております。小学校２３校のうち、半分はまだ見えていない状況ですので、学校にも赤堀歴史民俗資料館のおもしろさを伝えるように発信していきたいと考えております。また、赤堀歴史民俗資料館ではないですけれども、田島弥平旧宅においてもウォークラリーなどの事業を行っております。まずは学校の先生に対して興味を持っていただいて、さらに来ていただいたところで子どもたちがまた来てみたいなと思えるように、年２回の企画展もやっているところで興味深い内容になっておりますので、見えていただきたいと思っております。 ≪学校教育課長≫ 先ほどスタディツアーが始まったということで、今年度は赤堀歴史民俗資料館

	への参加する学校は増えていると認識しております。また、これまでも社会科主任会、各学校の社会科の研修会等で、赤堀歴史民俗資料館の方で研修して、各学校で社会科の中心になる先生に各学校への周知というものをしていただいております。さらに今回、本市では「私たちの伊勢崎市」の３、４年生のところで、現在の伊勢崎市の歴史資産を伝えているところではありますが、埴輪であるとかそういったものについて、子どもたちが伊勢崎市の素晴らしい資産に気づけるような内容を改訂することを考えていきたいと思っています。 ≪矢島委員≫ 可能であれば出前講座も考えていただきたいと思います。 ≪文化財保護課長≫ 現在、文化財保護課の職員が学校に出向いて説明していますので、引き続き広く対応していきたいと思っております。 ≪教育長≫ 文化財保護課の方からの講師派遣はできる体制はあるということですが、それを活用する学校の先生が自分で授業するよりも文化財保護課の専門家に来てもらって埴輪の模型、レプリカを持ってきてもらえば楽しい授業になると、そういう発想でもって、赤堀歴史民俗資料館などをもっともっと活用しようという考えを持つということが大事なのかなと思います。
事前質問	―― 事前質問 ――― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第４５号「教師用指導書の取得の追認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 ≪里見委員≫ 議案の４５号とこれから４６号、４７号と説明いただくと思いますけれども、今後の再発防止策を教えていただければと思います。 ≪学校教育課長≫ 改めまして、法令を遵守し行政を推進する立場である教育委員会において、このような事態を引き起こしてしまったことを心より反省し、今回の事態を重く受け止め、教育については契約時のチェックリストを見直すなど、検査体制をチェックしてまいります。大変申し訳ありませんでした。 ≪教育長≫ チェックリストの見直しに、まずは取り組んでいきたい。チェック体制が不十分だったということを重く受け止めているところでございます。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第４６号「小学校教科書採択替えに伴う教師用指導書の取得の追認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第４７号「小学校教科書採択替えに伴う教師用指導書の取得の追認につい

	て」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） ≪教育長≫ 議案第４７号については、取得価格が上がっておりますけれど、これについて説明がありますでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 価格が上昇している理由について３点ほどあると考えております。まず１つ目が生徒に伝えるべき内容が増えているということ。２つ目が児童生徒の興味関心を高めるために写真や資料が増えているということ。３つ目が児童生徒の理解を深めるためのデジタル資料が増えてきているということ。これらが価格高騰につながっていると考えております。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について １０月１７日（木）午前１０時　　本館５階職員研修室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年１０月１７日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年１０月１７日（木）
開催の場所	伊勢崎市役所　本館５階職員研修室

◇ 会 議 日 程 ◇

第１　開会宣言
第２　会議録署名委員の指名
第３　前回会議録の承認
第４　会議録署名委員の署名
第５　教育長報告
第６　事前質問事項
第７　議事
第８　その他の事項
第９　閉会宣言

※出席委員

三　好　賢　治（教育長）
山　洞　広　美（教育長職務代理者）
里　見　哲　也（委員）
野　口　理英子（委員）
矢　島　祐　介（委員）

※説明のため出席した者

教育部長	小林康人
教育部副部長	二上哲也
総務課長	本巣　徹
総務課政策調整担当	井野幸枝
教育施設課長	井上賢一
学校教育課長	小保方祥浩
四ツ葉学園中等教育学校事務長	町田明子
学務課長	関根由夏
健康給食課長	百瀬剛志
生涯学習課長	髙橋浩一
図書館課長	和佐田靖子
文化財保護課長	吹上惠一

※総務課職員出席者

書記	阿左美　裕美
書記	石倉雄輔

開会

――― 開会宣言 ―――

教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

――― 会議録署名委員の指名 ―――

教育長から会議録署名委員として里見委員、野口委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。

前回会議録の承認

――― 前回会議録の承認 ―――

９／２４の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― ９／２４の会議録に署名をいただいた。 教育長、矢島委員、山洞委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪学校教育課長≫ １.「英語弁論大会について」、伊勢崎市及び佐波郡内の中学生の英語力向上を目的として実施され、一般の部及び海外在住経験者の部合わせて７名が群馬県大会に出場する旨、資料を基に報告があった。 ≪生涯学習課長≫ ２.「令和６年度伊勢崎市人権学習会の開催について」、１１月１５日（金）に宮郷公民館にて、行政書士事務所の江口安美氏を講師として招き開催される旨、資料を基に報告があった。 ≪図書館課長≫ ３.「読書週間関連イベントについて」、１１月３日（日）に図書館フェスティバルを、１１月１０日（日）に図書館を考える講演会を実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ４.「令和６年度赤堀歴史民俗資料館企画展「ヒミツの縄文土器☆大集合―伊勢崎の縄文時代のすべて―」の開催について」、１０月１１日（金）より赤堀歴史民俗資料館にて開催されている同展示について、歴史文化講座や体験事業を交えながら実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪文化財保護課長≫ ５.「伊勢崎市誕生２０周年記念事業、田島弥平旧宅世界遺産登録１０周年記念事業　そらから見る世界遺産のまち「熱気球体験 in　島村蚕のふるさと公園」同時開催「島村てくてくアカデミー」の開催について」、１１月１７日（日）熱気球係留体験を実施するとともに市内外の各種団体や事業者の協力により島村の蚕種製造民家群を歩くクイズラリーや体験学習ができるイベントを実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪山洞委員≫ 各課とも大変興味深い企画を考えていただき、ありがとうございます。参加したい内容がたくさんありますので、こういった企画を休む間もなく作り出すみなさんに大変感謝しております。一つお願いですが、伊勢崎市人権学習会が宮郷公民館で開催されるということですが、外国籍の人たちが多い境公民館でも機会がありましたら開催していただきたいと思います。よろしくお願いします。 ≪生涯学習課長≫ ご意見ありがとうございました。今年度は会場との兼ね合いもございまして宮郷公民館での開催という形になりましたが、今後の開催については境公民館でも開催という形をとりたいと思います。 ≪里見委員≫ 資料の１　英語弁論大会についてですけれど、伊勢崎市・佐波郡内で開かれるということで、大変良いことだと思います。お伺いしたいのは弁論大会の評

	価基準です。英語の使い方であるとか発音であるとか、あるいは発表の内容であるとか、どんなものになっているのか、よろしければ教えていただきたいと思います。 ≪学校教育課長≫ 詳細な内容については手元にありませんが、おっしゃっていただいたような内容、表現、態度、中でも表現については発声であるとか発音も含まれているということで、審査員については共愛学園前橋国際大学の先生方にお願いをして公正に審査していただいているところです。子どもたちの表現力や英語に対する知識が評価されていると認識はしております。 ≪教育長≫ 学校教育課長の補足ですが、英語の上手さよりも、伝えようとしている内容が評価されていると感じています。今回の入賞者でも、身近な、中学生なりに感じている社会的な問題であるとか、自分自身の成長、発達にかかわることで、思春期独特の悩みであるとか、そういうことを自分が使える英語で一生懸命伝えようとしているところが審査において重きが置かれているというふうに感じております。 ≪矢島委員≫ 英語弁論大会について、発表されている 7 名の方々の内容をお聞きしたいのですけれども、いくつか教えていただければと思います。また、今回、発表された方々は普段は日本語を使いながら学校で生活しているのでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 一般の部で入賞した 1 位の子については「A Bridge Between People Around the World」というタイトルで、本人が世界の架け橋になる、という内容と認識しております。一般の部の 2 位の子は「What I Learned from My Father」お父さんから学んだこと、という内容です。海外の部の 1 位の子については「The Enduring Path Toward Peace」平和に向けてという内容でした。普段の言語に関連した話ですが、一般の部に参加ができる条件というのがありまして、5 歳以降に継続して半年から 1 年海外にいた子というのは海外の部になります。他にもインターナショナルスクールとかアメリカンスクールに通った経験のある子というのは一般の部の対象外、また保護者の方や同居の方が英語圏に住まわれている方は対象外です。小学校高学年の時に英語圏のスリランカから来ている子は海外の部になっています。先ほどの質問の中で、普段の言語という話ですけれど、一般の部の 1 位の子は、小学校の時は日本語教室にも通っていた経験はあるそうですが、中学校に入ってからはすべて通常学級で他の日本人の子たちと同じ生活をしている子という認識をしております。海外の部の 1 位の子は、中学校の入学前で日本に来ていますので、現在は日本語教室にも通いながら勉強をしています。ここに載っている子たちはすべて国内の全日制の高校進学を目指して頑張っているということで、学校では通常の子たちと一緒に生活をしていると伺っております。
事前質問	―― 事前質問 ―― なし
議事	―― 議案 ―― 議案第４９号「令和６年度末教職員人事運営方針について」教育長から上程があ

	った。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 ≪野口委員≫ 現場の教員が不足しているということを色々なところから聞きますが、学校の職員の構成、年齢とか性別とか、そういったところで課題になっていることを教えていただければと思います。 ≪学校教育課長≫ 今、教員不足ということが大きな問題で、報道等でも大きく取り上げられているところだと思います。本市においても同様に課題となっております。今、大量退職であるとか、教員志望が減っているという現状の中で、これまでであれば年の途中の病休者であるとか産休取得者を埋めるための免許を持った一時的な任用者がいたのですけれど、そういった方々が減少していて、なり手が少ないことによって不足が発生しております。免許を取って教員希望はするけれども採用試験に合格しない、そのため臨時で頑張っているという方が結構いたのですけれども、その方々の合格率なども上がっているので、一時的な任用者の登録が少なくなっているというのが現状です。併せて、学校のほうの課題とすると、当然欠員が生じたときに学校内で対応していくので、補充者が見つかるまでの期間の負担が増えています。また、年齢構成がここ数年で一気に若くなってきています。採用者を増やしている、というところもありますので、全体的に若くなってきている、そのためベテランの方々の負担も大きくなってきているというのがあります。教育委員会としても初任から 3 年目まで、1 校目や 2 校目という方々が各学校でしっかりと戦力となるように、市で独自の研修をするなど対応をしています。また学校の中でも研修をしていると報告を受けています。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５０号「伊勢崎市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 学務課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 区画整理事業による換地処分というものはどういったものでしょう。 ≪学務課長≫ 換地処分というのは、従前の土地所有者に対して正しく割り当てられる土地を指定する行政処分ということになっております。区画整理法に基づいて行われているものでございます。 ≪教育長≫ それによって指定区域内の町名が変わってくる、ということですね。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５１号「伊勢崎市学校運営協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ この学校運営協議会は、宮郷中学校をコミュニティスクールとして指定して

	いますが、コミュニティスクールを運営する委員会であります。地元の住民のみなさんや関係者が入って、学校の運営について、校長の経営方針を承認したり、あるいは学校の運営に係る地域の様々な教育支援を学校に提供していただくために手続きを進めていただいている会議です。ちなみにどういう方々が委員を務めていただいているのでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 伊勢崎市立学校における学校運営協議会規則に基づきますと、委員は 12 人以内ということで、保護者が 2 人以内、地域住民が 3 人以内、当該指定学校の校長が 1 人以内、学識経験者が 3 人以内ということですけれども、地区の区長さんであるとか地域にお住いの大学の先生であるとか、PTA の方であります。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について １１月１９日（火）午前１０時００分　　本館５階職員研修室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年１１月１９日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和６年１１月１９日（火）
開催の場所	伊勢崎市役所　本館５階職員研修室
	◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　議事 第８　その他の事項 第９　閉会宣言
	※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 野　口　理英子（委員） 矢　島　祐　介（委員）
	※説明のため出席した者 教育部副部長　二上哲也 総務課長　本巣徹 総務課政策調整担当　井野幸枝 教育施設課長　井上賢一 学校教育課長　小保方祥浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　町田明子 学務課長　関根由夏 健康給食課長　百瀬剛志 生涯学習課長　髙橋浩一 図書館課長　和佐田靖子 文化財保護課長　吹上惠一
	※総務課職員出席者 書記　阿左美裕美 書記　石倉雄輔 書記　神村英里
開会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として野口委員、矢島委員、議案の説明者として教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ――― １０／１７の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― １０／１７の会議録に署名をいただいた。 教育長、里見委員、野口委員署名
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪学校教育課長≫ １.「令和６年度中体連等の結果について」、総合体育大会における個人及び団体の競技結果について、併せて音楽関係で、吹奏楽及び合唱の大会結果について資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ２.「市小学校陸上教室記録会の結果について」、大会における個人、リレー、走り高跳び及び走り幅跳びの競技結果について、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ３.「「ほっとる～む」の取組について」、合同交流会及び自然体験活動の実施状況及び児童生徒の反応について資料を基に報告があった。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ ４.「令和６年度群馬県高体連関係大会結果について　及び　令和６年度全国高等学校総合文化祭結果について」、各種競技会等の結果について、運動面ではテニスや水泳、文化面では囲碁を中心に活躍した旨、資料を基に報告があった。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ ５.「入学者選抜説明会　実績報告について」、今年度は小学生２２１人、保護者２５２人の計４７３人が参加した旨、資料を基に報告があった。 ≪学務課長≫ ６.「北小学校特認校制の申込結果について」、新１年生３５人の申し込みがあり、今後は先着順にて追加募集を実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪野口委員≫ 秋に子供たちのスポーツや文化的な活動も含めてたくさんイベントがあって良い経験になっているのだろうなと思いました。また、先生方の準備やサポートのおかげであるとも思いました。 ≪矢島委員≫ 音楽関係の結果を伺いましたけれども、すごい成果を収められたなと感心しております。こういう成果はここにいない子供たちにもすごい自信になると思います。 ≪教育長≫ 野口委員にお伺いしたいのですけれど、ほっとる～むの取組について、臨床心理の専門の立場からいかがでしょうか。 ≪野口委員≫ 普段、学校に通えていない生徒さんが参加されるということで、なかなか外の施設で体験するという機会も難しい状況にあるお子さんたちなのかなと思うのですけれども、このような形でほっとる～むの先生方が企画してくださって、自信につながっていくのだと思いますし、合同の行事ということで、普段、関わっていない別の教室との交流があるというのも、人間関係を構築していくという面では良い経験になると思います。

	≪教育長≫ 　私から１つ伺いたいのですけれど、四ツ葉学園のインターハイ結果にある「スカイランニング」というのは、どういうものでしょうか。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ 　主に山岳を走る競技です。山岳を走る競技としてはトレイルランとスカイランニングがあるのですが、スカイランニングは高低差、上り下りが加わった競技と聞いております。 ≪教育長≫ 　それがインターハイの競技にもなっているということですね。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ 　インターハイの競技にはなっておりませんで、生徒が個人的に取組んでいる競技です。個人で色々な大会に出ておりまして、全日本の選手権を突破して、世界大会に前年度から参加しています。前年度は世界大会でイタリアに、今年度はモンテネグロに参加します。 ≪教育長≫ 　すごい結果ですね。また、ビーチバレーも高校生の競技にあるとは知らなかったです。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ 　ビーチバレーはインターハイの種目としてございまして、資料にある生徒は個人的に団体で出場していると思いましたが、バレー部の生徒がビーチバレーにも出場しているということです。 ≪教育長≫ 　１位ということは県で優勝ということでしょうか。 ≪四ツ葉学園中等教育学校事務長≫ 　はい。県を突破して、愛媛県である全国大会に出場しました。全国大会の結果は入賞ではありませんでした。
事前質問	―― 事前質問 ―― なし
議事	――― 議案 ――― 議案第５２号「令和６年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出等補正予算（第６号）等の見積り等について」教育長から上程があった。 教育部副部長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５３号「令和６年度伊勢崎市学校給食センター事業費に係る特別会計歳入歳出補正予算（第１号）の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部副部長から資料を基に説明がされた。 ≪矢島委員≫ 　様々なメディアで諸物価の値上がりの問題が報じられておりますけれど、物価の影響はあるのでしょうか。 ≪健康給食課長≫ 　ご質問の通り、給食賄材料というものがあるのですが、物価の高騰の影響を

	受けておりまして、食材、それから主食であるお米、パン、牛乳については業者から値上げが来ておりますが、本市についてはその部分の補填をしておりまして、今年度で申し上げますと、１食あたり６０円の補填をしながら、給食の質を落とすことなく、提供しているところでございます。 ≪教育長≫ 保護者に高騰分を求めるのではなく、通常の給食費よりも１食あたり６０円を公費補填しているということでございます。総額で言えば、１億４０００万円ほどでしょうか。 ≪健康給食課長≫ 総額で２億弱くらいでございます。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５４号「小学校体育館への空調設備設置事業における工事請負契約の締結に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育施設課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 私から補足ですが、これは今年度中に実施する分についての、小学校の体育館の空調工事を契約締結ということでよろしいですね。 ≪教育施設課長≫ 北小学校外１２校になりますけれども、契約日が１１月６日になっております。工事の期間ですけれども、１１月７日から３月１４日までとして、今年度中の設置を完了する予定でございます。 ≪教育長≫ 北小学校外１２校の空調設備を体育館に設置するための今年度に完了するための工事契約ということでございます。急を要することから、先に決裁をさせていただいたところです。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５５号「名和小学校南校舎長寿命化改修電気設備工事（債務負担行為）請負契約の締結に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育施設課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５６号「伊勢崎市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 学務課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 通学区域の内容の変更ではなく、申請書の様式の変更ということでの上程でございました。 ≪里見委員≫ この改正は「平成１７年伊勢崎市教育委員会規則第２０号」の規則を一部改正する案ということでなく、一部を改正するために新たな規則を設ける、という理解でよろしいでしょうか。 ≪学務課長≫

	おっしゃるとおりでございます。 ≪里見委員≫ 一般的に、行政の規則改正というのは、２０号の規則をいきなり改正するのではなくて、２０号を改正する規則を改めて制定する、という建付けで改正がされていくという理解でよろしいでしょうか。 ≪学務課長≫ おっしゃるとおりでございます。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５７号「史跡上野国佐位郡正倉跡用地取得について」教育長から上程があった。 文化財保護課長から資料を基に説明がされた。 ≪矢島委員≫ 添付の地図ですけれども、今回の上程されている範囲は赤の範囲ということでよろしいでしょうか。 ≪文化財保護課長≫ 今回の取得の範囲は青の範囲でございます。 ≪矢島委員≫ 資料の赤の範囲、黄色の範囲というのは今後、どういった扱いになるのでしょうか。 ≪文化財保護課長≫ 赤の部分は指定が既にされている部分でございまして、その中でさらに赤く囲われている部分については、まだ指定されていない部分で、所有者からご同意を得ていない部分でございます。また、赤の範囲から大きく北東に伸びている部分にございましては、史跡の可能性がある部分ということで、今後、地権者にご説明して指定に向けて進めていきたいと考えております。 ≪教育長≫ 八角倉庫の存在が明らかになって、今後、当時の役所の跡が出てくるのではないかという推測が専門家からされておりまして、これが出てくると大変大きな発見になるということで、用地取得を進めながら、継続的に発掘調査を進めていく、ということでございます。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第５８号「柴﨑医院跡地の寄附受入れについて」教育長から上程があった。 文化財保護課長から資料を基に説明がされた。 ≪教育長≫ 所有者から寄附のご意向をいただということについては、既に議会の一般質問で答弁させていただいたところですけれど、寄附手続きを進める上での議案ということでございます。 ≪里見委員≫ 土地と建物の寄附をいただくということですけれど、今後の活用の方法はどのように考えておられるのでしょうか。差支えない範囲でお願いします。 ≪文化財保護課長≫ 「史跡田島弥平旧宅整備基本計画」において、トイレ・防火水槽の設置を検

	討すると定めています。これを基本に１０年間、田島弥平旧宅を調査整備して、史跡の冠水が大きな課題となっていますので、そちらのほうも調査整備委員会の有識者の方々と相談しながら、整備を検討していきたいと考えています。 （そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について １２月１９日（木）午前１０時００分　　北館４階会議室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

伊 勢 崎 市 教 育 委 員 会 会 議 録

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年１２月１９日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和６年１２月１９日（木） 伊勢崎市役所　北館４階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第１　開会宣言 第２　会議録署名委員の指名 第３　前回会議録の承認 第４　会議録署名委員の署名 第５　教育長報告 第６　事前質問事項 第７　その他の事項 第８　閉会宣言 ※出席委員 三　好　賢　治（教育長） 山　洞　広　美（教育長職務代理者） 里　見　哲　也（委員） 矢　島　祐　介（委員） ※欠席委員 野　口　理英子（委員） ※説明のため出席した者 教　育　部　長　　小　林　康　人 教育部副部長　　二　上　哲　也 総　務　課　長　　本　巣　　徹 総務課政策調整担当　　井　野　幸　枝 教育施設課長　　井　上　賢　一 学校教育課長　　小保方　祥　浩 四ツ葉学園中等教育学校事務長　　町　田　明　子 学　務　課　長　　関　根　由　夏 健康給食課長　　百　瀬　剛　志 生涯学習課長　　髙　橋　浩　一 図書館課長　　和佐田　靖　子 文化財保護課長　　吹　上　惠　一 ※総務課職員出席者 書　記　　阿左美　裕美 書　記　　石　倉　雄　輔 書　記　　神　村　英　里
開　会	――― 開会宣言 ――― 教育長から開会宣言があり、野口委員が欠席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	――― 会議録署名委員の指名 ――― 教育長から会議録署名委員として矢島委員、山洞委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。

前回会議録の承認	――― 前回会議録の承認 ――― １１／１９の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	――― 会議録署名委員の署名 ――― １１／１９の会議録に署名をいただいた。 教育長、野口委員（後日）、矢島委員署名
事前質問	――― 事前質問 ――― なし
教育長報告	――― 教育長報告 ――― ≪教育部長≫ １．「令和６年第５回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ２．「修学旅行について」、小中学校における実施概要について、資料を基に報告があった。 ≪学校教育課長≫ ３．「小中学校合同音楽会について」、１１月１３日及び１４日に行われ、児童生徒が日頃の授業や部活動での学習成果を発表した旨、資料を基に報告があった。 ≪健康給食課長≫ ４．「学校給食パネル展の開催について」、学校給食について理解と関心を高めていただくため、伊勢崎駅前インフォメーションセンターにおいて１月２２日から３０日にかけて実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪生涯学習課長≫ ５．「伊勢崎市誕生２０周年記念事業　第２０回伊勢崎市生涯学習大会の開催について」、２月１日に境総合文化センターにおいて、今年度は第一部に大塚製薬株式会社北関東支店高崎出張所の原川裕文さんによる講演会、第二部に群馬県出身の落語家立川がじらさん及び柳家小もんさんによる落語を実施する旨、資料を基に報告があった。 ≪矢島委員≫ 一般質問の中で児童虐待についての質問に対して、学校教育課の答弁を読ませていただいたり、今のご報告を伺って、端的な説明がされているなと思います。学校の中で行われていることが伝えられているのではないかと思いましたが、議員さんはこの説明を聞いてどのような反応なのか伺えたらと思います。 ≪学校教育課長≫ 馬庭議員さんと聞き取りであるとか、再質問での対応等をした時に、子供たちが自らここにあるような虐待等を受けていた場合に助けを求められる環境の大切さや、教職員がそういった知識を身に着ける研修の大切さ、そういったものが今後必要なのではないかという思いがある中での質問でした。教育委員会の考えを進めてほしいという反応をいただいたと思っております。またここに関連して市長部局への質問等もございましたので、そことも合わせて今後さらに学校等を含めて虐待等がしっかり通告されるように連携をしながら進め

	ていってほしいというものでした。 ≪山洞委員≫ 関連したことでお伺いしたいのですが、今は何か問題が起きた時に家庭訪問等を行っているように感じるのですが、先生方がお忙しく、またコロナもあったのでとりやめになったのかなと。以前は先生が家庭訪問した時にある程度家庭環境が垣間見られたと思うのです。いつの間にか家庭訪問というのが無くなっていますが、これは何か理由があるのでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 現在全ての家庭に対しての家庭訪問はほとんど無くなっています。これは働き方改革がきっかけの一つではあります。ですが、委員さんがおっしゃったような家庭環境等で心配な場合等については、これまでも最初の家庭訪問だけでなく、別な機会を持って家庭訪問を行ったりですとか、必要に応じて行っていたのが実情です。ですから今は全ての家庭に対して訪問するのではなく、その機会を二者面談とか三者面談の機会を増やして、保護者の方と学校との共通理解を深めています。また、全ての家庭に対して一律に家庭訪問を行わなかったとしても、やはり家庭的に心配であったりですとか、何か行くきっかけが必要だろうという場合には随時必要に応じて、タイミングも年度初めや何か困ったことがあった時に柔軟に家庭訪問を実施しています。 ≪山洞委員≫ もう一つ修学旅行についてですが、孫が中学の時に京都・奈良方面に行ってきて、能の見学をさせていただいた時に、舞台に代表で何人か上がらせていただく経験をしてきたのです。こういう貴重な経験というのは子供たちにとってすごく刺激になったようで、大変いいことだと思いました。また今はとにかく京都には外国の方がたくさんいらっしゃっていて、以前は班別行動というのは、自分たちで考えてバスに乗ったり、地下鉄に乗ったり、いろいろなことを考えて迷いながら学んだものですが、京都でタクシーに乗った時、修学旅行の時期はほとんど学生さんなのですよ、と言われたのですが、その点はどうなのでしょうか。京都は日本人として一度は行かなければという感覚がありますが、同じ文化財を見学するにしても、東北の平泉ですとか、まだまだ子供たちが余裕を持って動けるところはたくさんあると思うのですが、その点はどのような感じなのですか。 ≪学校教育課長≫ まず班別行動については、コロナ禍から戻った時はバスが難しく、多くの学校が貸切りタクシー、ワゴンのようなタクシーを借りて、子供たちが計画を作ったものを計画通りに回っている学校が多かったと認識しています。今年の場合ですと、引き続き子供たちが計画したものを計画通りにタクシーで回っている学校もございます。ですが、やはりバスで失敗したとしても乗り換えなどに挑戦させたい学校もあるので、今は両方のパターンが学校ごとにあります。ほかの見学地については、コロナ禍の時に北陸方面に行った学校もございます。今言っていただいたような東北方面を検討した学校もございます。今外国人の方で混んでいて、とはいえ全く機能しないというわけでもないのですが、今後他の見学地についても、広島等も含めて将来的には考えていく必要はあると、教育委員会も学校も認識しています。 ≪山洞委員≫

	ありがとうございます。私は広島に住んでいたことがあるのですが、あそこは平和のことを考えたり、宮島等あるものですから、すごくいいかと思います。いろいろな面で学ぶことができると思います。 ≪里見委員≫ 堀地議員のところで、創造拠点としての図書館についての質問がありますが、今現在図書館の将来的なあるべき姿について、どのような体制、スケジュールで検討されていらっしゃるのか、差し支えない範囲で教えていただければと思います。 ≪図書館課長≫ 現在、中心市街地にぎわい創出拠点としての検討を進めているところです。図書館課といたしましては市民の皆様からのいろいろなニーズを伺いまして、アンケートですとか、図書館ミーティングですとか、そんなものを開催して皆様からご提案をいただいているところでございます。 ≪里見委員≫ ということは、今現在は市民の方々のご意見をお伺いして集めている段階であるという理解でよろしいですか。 ≪図書館課長≫ ご意見をいただいた中で精査をしているところです。 ≪矢島委員≫ 今の堀地議員の質問と関連しますが、核となる図書館の部分についてという質問で、答弁の中で郷土資料の収集を重要な使命の一つと考えているというのがありました。実はこの間図書館に伺った折に、２階に上がりますと郷土資料の金井烏州さんの水墨画が小さなコーナーでしたがミニ作品展のような形で紹介されていました。ちょっと知ることができる工夫が図書館の中でもずいぶん気を遣ってされているのだなと思って作品を見させていただきました。 ≪図書館課長≫ ありがとうございます。伊勢崎市図書館でもそうなのですが、境図書館、あずま図書館など各図書館でもさまざまな資料を持っておりますので、そういったものをなるべく皆さんに見ていただいて、いろんなものを感じていただけたらということで、これからも企画展示をしていきたいと思いますので、またその時にはよろしくお願いいたします。 ≪里見委員≫ 合同音楽会についてですが、こういう学校間の子供たちによる交流あるいは共同学習というものは非常に子供たちの刺激になって、子供たちの視野を広げたり、視点が高くなることに結び付く期待が持てると思うので、大変よい取組みであると思います。１つお伺いしたいのですが、これほど大きな会でなくてもよいのですが、学校間の交流あるいは共同学習は他にも取り組んでいらっしゃるのでしょうか。または今はまだやっていないけれども、これからそんなに大きくなくてもある一定の取組みを行う予定はあるのでしょうか。 ≪学校教育課長≫ 学校間の交流というところでいくと、まずは先日上毛新聞でも紹介をされた１２月の１週目に境総合文化センターで行われた小中特別支援学校の美術展というのが一つ大きなもので、こちらもたくさんの方に見に来ていただいて行っているものです。長く続いているということで、特別支援学校が入っている

	のも、以前市立学校であった時から引き続いて一緒に活動しているものです。また今後というところになってくると、今回の小中音楽会の方もコロナ禍においては実施をすることができませんでした。そういった中で再開について同じ形でするのがよいのか、別の形がよいのかというところで、音楽主任会でも検討した中で、一つの案としては校区の中だけで、例えば宮郷地区ならば宮郷合唱コンクールに小学生を招待して実施するとか、そういったアイデアもよいのではないかという話は上がってきていました。今回また以前と同じような形で再開することができたので実際には行っていませんが、コロナ禍については、新たな実施形態を検討するきっかけになったのではないかと理解しております。 ≪教育長≫ 特別支援学校とは、最寄りの境西中学校と全校生徒がお互いに楽しめるような教材を子供たちが自ら作って交流するということもやっています。委員のご指摘のとおり学校間の交流ですとか、世代間の交流は大事ですし、教育に必要であると考えています。 ≪矢島委員≫ 学校給食パネル展の資料を読ませていただいて、インフォメーションセンターという人がたくさん集まるところでたくさんの人に見ていただく趣旨で、給食の成果を広報することは、非常に重要な意味があることだと思います。我が家のおすすめ料理で入選された方は見に行きたいでしょうし、他の方々も参考になるので食育にとってはとても有効な手立てだと思います。狙いは成果を広報していくというところなのでしょうけれど、教育長さんとお話をした時に、食品ロスのことも、学校給食の中では課題の一つだと伺いました。このように給食が大切であるということを見ていただくとともに、学校給食の中でも子供たちが解決できそうな課題、例えば食品ロスや食べ残しの問題は、日本中の食文化の問題でもあると思うのですよね。給食の提供は当たり前のことのようで重要なことで、課題や問題もあるのだということをパネル展の中で一つの視点として入れていただけるとよいのではないかと思います。それについての意見をいただきたいというのが一つです。もう一つは、伊勢崎の駅前は高校生が多く乗降しているので、インフォメーションセンターの前を通った時に、何年頃の給食ですとか、何年前の何月何日の給食ですとか、何年前の給食の人気ベスト１ですとか、高校生たちが入れるような工夫もされてはどうかと思います。高校生はやがて家庭を作るようになると思うので、その時に給食や食生活が大切だということがこの企画を通して少しでも頭に残るといいと思います。それについてもご意見いただければと思います。 ≪健康給食課長≫ 一点目の残渣の件につきましては、今現在数値で申し上げますと約１割が提供した給食から戻ってきた残渣率になっています。それについての改善策といたしましては、学校に嫌いな食材や好きな食材は何なのかアンケートを取りますと、現在のところ野菜が一番嫌いで、次に魚という順位があります。そういった献立を栄養士と相談しながら残渣が残らないような工夫をしているところです。また高校生に向けてのPRということにつきましては、30年代、40年代といったレプリカを用意して、当時の子供たち、自分が小学生中学生だった頃のことを思い出していただくような仕組みを考えてありますので、そのあた

	りについてももう少しPRしていきたいと思っています。 ≪教育長≫ 　食品ロスに関連して、子供たちが給食を食べ残すという問題に、学校栄養士さんがバランスのよい献立を考えていただき、併せて郷土料理ですとか、世界の料理ですとか、あるいは地場産野菜を生産者が直接ビデオを通して子供たちに語りかける中で、子供たちがそれを食するというような取組みもしている中ですが、それでも野菜が嫌いですとか、魚が食べられないという子がいます。給食に限らずこれからの成長や健康を考えた時にも大きな課題であり、食べたいものだけを食べればいいというわけではないと考えています。いかがですか。 ≪矢島委員≫ 　まったくその通りだと思います。そのうえで我が家のおすすめ料理の取組みは、学校給食と相俟って、学校だけがリードすることではなく、家の中の大きな改善点や工夫点であるという指摘がこの中に含まれていると思います。いい取組みだと思います。
その他の事項	――― その他の事項 ――― ・次回の教育委員会の日程について 　１月２０日（月）午後２時００分　　本館５階職員研修室
閉　　会	――― 閉会宣言 ――― 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。